

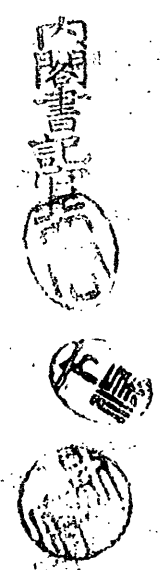
大正六年 陸軍省 査

供覧

獨國工業動員ニ關スル普國陸軍省原料課長ノ口演要旨

九			九十類
函	架	冊	

祕

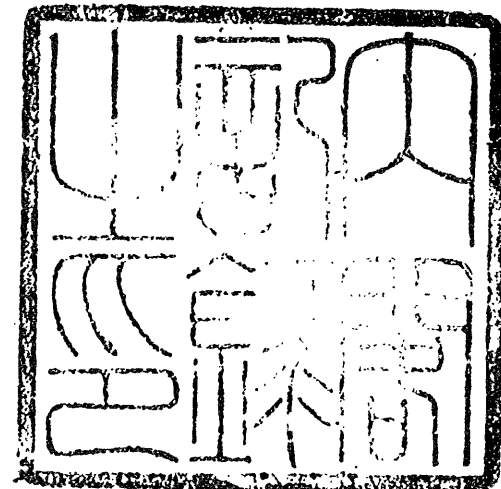


臨時軍事調査委員

国立公文書館	
分類	
排架番号	2 A
	34-6
	① 2126

大正六年五月十五日陸軍省印刷

2126



獨國工業動員ニ關スル普國陸軍省原料課長口演ノ要旨

目次

緒言	一頁
第一 通説	二
第二 工業動員著手建議	四
第三 原料課ノ創設	四
第四 原料課ノ任務	五
第五 原料課開設當時ノ編成	五
第六 原料動員ノ基礎調査	六
第七 原料補給ノ根本方策	七
第八 原料動員實行上ノ難關	九
一 徵發令ノ不備	九
二 原料動員ヲ理解セサル官憲トノ協同	九
三 原料課職員トシテ適任者ノ缺乏	一〇

目次

四	原料課事務室ノ急速大膨脹	一二
五	極端ナル劇務	一二
第九	原料動員ト徵發令	一三
第一〇	原料集散貯藏組織ノ新設	一六
第二一	占領地ニ於ケル原料行政	一九
第二二	空中窒素工業	二〇
第二三	窒素工業以外ノ新事業	二三
第二四	原料最高價格ノ規定	二三
第二五	代用原料ノ研究及普及	二四
第二六	原料課ノ業務	二四
第二七	海上封鎖カ英獨兩國經濟界ニ及ホセル影響	二七
第二八	平時ニ於ケル工業動員準備	二九
第二九	獨國工業動員成功ノ要素	三一

獨國工業動員ニ關スル普國陸軍省原料課長口演ノ要旨

緒言

獨國カ開戰後間モナク工業動員ヲ實施シ夙ニ兵器彈藥補給ノ爲全國ノ工業力及工業用資源ヲ統一糾合シ海外ノ輸入殆ト杜絶ノ狀態ニ於テ能ク三箇年ニ垂ムトスル長時日間強大ナル野戰軍ノ補給ヲ圓滑ナラシメ今尙此點ニ於テ良成績ヲ擧ケツツアルハ要スルニ獨國ノ工業狀態及國民性之ヲ然ラシメタルニ相違ナキモ抑亦工業動員計畫ノ適切ニシテ之カ實行ノ局ニ當レル者カ此ノ非常ノ時ニ際シ非常ノ決斷ヲ以テ此ノ計畫ヲ著々斷行セル結果ニ外ナラス此ノ間ノ消息ハ軍事上有力ナル參考ニシテ現ニ英國ヲ始メ佛國、露國、伊國皆遲レ馳セカカラ此ノ範ニ倣ヒ悉ク工業動員ヲ實施セルモノトス

本篇記載スル所ハ開戰當初獨國工業動員ノ計畫ヲ建議シ且自ラ同國陸軍省ニ於ケル工業動員主務課長トシテ之カ實行ニ任シタル「ドクトル、ラーテナウ」氏(Dr. Walter Rathenau ハ柏林電氣會社ノ社長ニシテ開戰後陸軍省原料課ノ新設ヨリ約八箇月間其ノ課長タリシ人ナリ)自ラ講演(千九百十五年十二月二十日「Deutsche Gesellschaft 1914」於テ)セル「獨國工業動員ノ大要」ニ就キ要點ヲ紹介セルモノニ外ナラス其ノ目的トスル所ハ以テ工業動員著手ノ經路ヲ知り工業動員ノ根本要領ヲ研究スルノ參考ニ資スルニ在リ

本文口演ノ原文表題ハ「獨國原料補給」(Deutschlands Rohstoffversorgung)ナルモ元來獨國工業動員

ハ原料補給ヲ以テ骨子ト爲スモノニシテ平時ヨリ工業及勞働組織ノ完備セル同國ニ在リテハ原料動員即チ工業動員ト云フモ大過ナク他國ノ工業動員ト稍趣ヲ異ニスルヲ以テ之ヲ卷首ニ辯ス

第一 通説

以下述フル所ハ獨國經濟戰ノ一局面ニシテ戰爭ノ經過及成績ニ重大ナル影響ヲ與ヘタル工業動員ノ概要ナリ此ノ動員ハ何等歷史上ノ範例ナク計畫實施セルモノニシテ戰後ト雖經濟界ニ其ノ永續的效果ヲ止ムルニ至ルヘキナリ

抑獨國工業動員ハ最初秘密ニ小規模ニ實施セラレ漸次其ノ範圍ヲ擴張シ遂ニ獨國經濟界全般ノ組織ヲ變革セルモノニシテ之カ爲舊普國陸軍省ノ廓外ニ發展溢出セル一大官衙ヲ新設シ此ノ官衙ニ於テ獨國ノ經濟ヲ戰爭ノ要求ニ適合セシムルコトヲ掌ラシムルニ至レルモノトス

此ノ工業動員ハ多數人物ノ協同動作ニ依リ成立發展セルモノニシテ是等當事者ハ各種ノ職業ヲ有スル各種ノ人物ヨリ成リ各國家ノ爲最善ノ努力ヲ提供シ各人各種ノ經驗ト能力ヲ遺憾ナク此ノ事業ニ傾注セリ之カ爲各自ノ自由執務ニ毫モ拘束ヲ加ヘラルコトナカリキ

國民ト國民トノ經濟關係ハ昔ヨリ間斷ナク複雑ヲ加ヘ來リ水運ト鐵道交通ノ發達ハ世界各方面ノ物資ヲ移動融通シ之ヲ社界萬般ノ用途ニ利用セシム獨國ニ於ケル家具、什器、建築物、被服品、糧食品、軍

需品、運輸交通用品等ヲ仔細ニ觀察スレハ殆ト外國品又ハ外國原料ヲ含有セサルハナシ以テ同國原料動員ノ如何ニ複雑廣汎ナルヤノ一端ヲ知ルニ足ルヘク獨國原料動員ハ海上封鎖ヲ受ケ外部トノ交通杜絶セル狀態ニ於テ軍需品ヲ補給ニ遺算ナカラシムルヲ要スルモノトス食料問題ニ關シテハ其ノ聲高キモ而モ國內產出食糧品ハ全需用額ノ八十「プロセント」以上ニ達シアリテ海上封鎖ハ或ル程度ニ食糧品ヲ制限シ得ルモ決シテ食糧品ヲ以テ獨國民ニ致命的打撃ヲ加フルコトヲ得ル性質ノモノニアラス之ニ反シ戰爭遂行ニ必要ナル原料問題ニ至リテハ其ノ輸入封鎖ハ國家ノ致命的重大事項ナリト謂ハサルヘカラス

試ニ歐羅巴ノ地圖ヲ觀ヨ中歐同盟諸國ハ其ノ面積大ナリト雖僅ニ三箇ノ海洋ニ面スルノミ而モ孰レモ内海ノミナリ而シテ東海ハ一海峽ヲ以テ外ニ通スルノミ北海ハ英佛海峽ヲ以テ閉塞セラレ又「オルクネー」(Orkney) 及「シェットランド」(Shetland) 諸島ニ依リ封鎖セラル地中海亦東西兩鎖鑰點ニ於テ鎖サレアリ而シテ此等内海ノ對岸ハ北ニ於テハ重要原料ノ供給上極メテ貧弱ナル國アルノミ南ニ於テハ地中海ヲ隔テテ大砂漠地ノ橫斷スルアリ鐵道其ノ他ノ交通線ノ之ヲ南北ニ貫クモノナシ千九百十四年八月四日英國力獨逸ニ對シ宣戰スルヤ獨國ハ古來未タ嘗テ經驗セサル難境ニ陥リ國ヲ舉ケテ恰モ攻圍セラレタル要塞ノ如キ狀態トナリ海陸共ニ封鎖セラレ自給自營ノ外途ナク戰爭ノ繼續ト之ニ伴フ消費、危險及犧牲カ那邊ニ達スヘキヤ之ヲ豫測スルコトヲ得サリキ

第二 工業動員著手建議

宣戰布告後三日目に至リ「ラーテナウ」氏ハ國運ノ危機ヲ坐視スルニ忍ヒス意ヲ決シテ時ノ陸軍省軍務局長「シヨイヒ」大佐（Oberst Schenck）ニ面會ヲ求メタルガ八月八日に至リ目的ヲ達シ獨國カ現在ノ狀態ヲ以テセハ戰時經濟上缺クヘカラサル原料ニ於テ恐ラク數箇月ヲ支ヘ得ルニ過キサレヘキヲ説明セリ戰爭ノ繼續ニ就テハ氏モ局長モ短期ナルヘキヲ豫想シアラサリキ從テ氏ハ此ノ場合獨國ヲ自滅ノ狀態ヨリ救済スル爲陸軍省ニ如何ナル方策アリヤヲ質問セサルヲ得サリキ

「ラーテナウ」氏ノ此ノ諷刺ハ普國陸軍省ノ注意ヲ喚起シ其ノ翌日午前、時ノ陸軍大臣「フアルケンハイン」氏ニ面接スルコトナレリ而シテ當日會談數刻ノ後同大臣ハ工業動員編成ニ著手スルコトトシ即座ニ之ヲ決定シ其ノ編成力如何ニ大規模ノモノナルトモ又之カ爲要スル經費力如何ニ莫大ナルヘキトモ最有效ナル方法ヲ以テ此ノ問題ヲ解決セサルヘカラスト爲セリ普國陸軍大臣ノ大膽ニシテ責任重大ナル此ノ決心ハ同省ノ戰時補給行政ニ大變革ヲ與ヘタルモノニシテ以下説明セムトスル所ハ此ノ出發點ヨリ起リタルモノトス

第三 原料課ノ創設

「ラーテナウ」氏大臣トノ會談ヲ終リ辭去セムトスルヤ同大臣ハ工業動員編成ヲ同氏ニ依頼シ即座ニ承諾ヲ求メ熟考ノ餘日ヲ借サヌ又當時陸軍省ハ之ニ關シ何等ノ準備モナカリキ斯クテ其ノ後數日ニシテ「ラーテナウ」氏ハ陸軍省ニ執務スルコトナレリ

戰時原料課ハ省令（Ministerialerlass）ヲ以テ新設セラレタルカ其ノ課長ハ二名ヨリ成レリ其ノ一名ハ退役大佐ニシテ軍事上ノ要求ト陸軍省ノ經驗トヲ代表スルカ如キ意味ニテ置カレタルモノニシテ他ノ一名ハ即チ「ラーテナウ」氏ナリ同氏ノ任務ハ工業動員上ノ編成ヲ完成スルニ在リタリ

原料課ハ當時總員僅ニ三人ニ對シ四箇ノ小ナル事務室ヲ有シタルノミ其ノ一人ハ同課ニ屬セラレタル庶務掛ニシテ此ノ者ハ事務整理ニ通曉シ有力ナル補助ヲ與ヘタリ

第四 原料課ノ任務

戰時原料課ノ任務ハ國內及占領地ニ亙ル廣大殷盛ナル獨國全工業界ヲ戰爭ノ要求ニ適合セシムル如ク掌握シ之ニ一貫セル意思ト強大ナル國防力ヲ賦與スルニ在リ

第五 原料課開設當時ノ編成

此ノ任務ヲ達成スルカ爲ニハ第一ニ人物ヲ求メサルヘカラス乃チ「ラーテナウ」氏ハ先ツ自己已知中

第二 工業動員著手建議
課開設當時ノ編成

第三

第四

第五

五

ニ之ヲ物色シ同氏ノ經營スル電氣會社 (Allgemeine Elektrizitäts-Gesellschaft) ノ代理社長「クリンゲンベルグ」博士ノ外友人中ヨリ「フオヌ、メッレンドルフ」ナル人ヲ得タリ後者ハ最初「ラーテナウ」氏ニ對シ獨國經濟上ノ弱點ヲ指摘セル人ナリ斯クテ原料課ノ人員ハ五名トナリ業務ヲ開始スルヲ得ルニ至レリ

第六 原料動員ノ基礎調査

原料課ノ業務開始ニ當リ先ツ研究スヘキ事項ハ獨國現在ノ原料資源ハ幾何ナルヤヲ知ルニ在リタリ之カ爲ニハ獨國ハ自國內ニ現在スル原料中必要缺クヘカラサルモノニ就キ幾箇月ヲ支ヘ得ルヤヲ知ルヲ要シ同課ノ諸計畫ハ先ツ此ノ問題ヨリ解決スルニアラサレハ如何トモスルコト能ハス然ルニ之ニ關スル各工業家ノ意見ハ區々ニシテ各人ノ間ニ大ナル逕庭アリ甲ノ見ル所ト乙ノ見ル所ト十倍ノ差アル者尠シトセサリキ

是ニ於テ「ラーテナウ」氏ハ統計局ニ就ギ此ノ問題ニ關スル統計ヲ得ムトセルモ何等得ル所ナク其ノ時ヨリ新ニ調査ヲ開始セムトセハ約六箇月ヲ要ストノ答解ヲ得タリ然ルニ當時ノ情況ハ素ヨリ六箇月ノ長時日ヲ待チ得ルノ時機ニアラス故ニ此ノ統計ヲ二週間以内ニ得ムコトヲ要求セルモ到底不可能ナリトテ拒絕セラレタリ乃チ氏ハ別ニ方法ヲ講シ短時日ニ之ヲ調査スルニ至レリ

事情斯ノ如クナルヲ以テ冒險的ニ或ル標準ヲ捕捉スルノ外ナカリシカ斯クテ決定セル標準ハ幸ニシテ大ナル誤ナカリキ即チ其ノ算定法トシテ獨國經濟界ニ於ケル原料補給資源ノ狀態ハ適宜選定セル工業會社ノ多數ニ就キ總括的觀察ヲ下シ之ト大差ナキモノトシテ判斷スルコトトナセリ當時陸軍省ニ軍需品ヲ供給セル者(箇人又ハ會社)ハ九百乃至一千アリタリ故ニ是等ノ供給者ニ照會狀ヲ發シ原料ノ補給資源ト原料需要狀態トノ關係ヲ回答セシメタルカ其ノ結果二週間ノ後ニハ答解ヲ得タルヲ以テ大體ニ於テ自國內原料ノ需要供給狀態ヲ判斷スルヲ得ルニ至レリ某種原料ニ於テハ當時ノ軍需品要求(後ニ増加セルモ)ニ對シ一箇年以上ヲ支ヘ得ルモノナキニアラサリシモ一般ニ之ヨリ甚シク少カリキ

原料課ニ於テ管理スヘキ原料ノ範圍ハ當初甚タ多カラサルノ感アリタリ元來原料課ノ管掌スヘキ原料中ニハ食糧品及液體燃料ヲ含有セサルモ軍用原料ト稱スルモノ一切ヲ包括セリ即チ法規上規定セラレタル原料ノ定義次ノ如シ

戰時原料課ノ管掌スル原料トハ國防上必要ナル原料ニシテ國內ニ於テ不足スルカ若ハ瀕瀕スルニ至ルヘキ原料ヲ云フ

此ノ種原料ハ當初十二種内外ニ過キサリシモ其ノ後每週其ノ種類加ハリ遂ニ百種以上ニ達セリ

第七 原料補給ノ根本方策

斯クテ當時原料課ノ知り得タル所ハ尙少カリシモ而モ尙基礎條件タル事項ハ略明ニシテ國內ノ原料需給狀態ハ如何ナルモノナルヤヲ知ルニ足り之ニ對シ如何ナル問題ヲ解決スヘキヤモ漸次明瞭トナルニ至レリ

獨國經濟狀態ヲ國防ノ目的ニ適合セシムル爲次ニ述フル四種ノ方法手段ヲ取ルヲ必要トセリ

第一 國內ノ原料及半成品ノ移動ヲ制限シ一物ト雖箇人ノ意思ニ依リ動カスコトヲ得セシメス且贅澤品又ハ其ノ他ノ普通品ノ取引ト混同セシメス所謂軍用原料ハ悉ク軍需品ニ利用セラルル如ク嚴密ニ其ノ流通ノ經路ヲ限定スルニ在リ此ノ方法ハ最緊要ニシテ最困難ナルモノナリ

第二

(原文缺如)

第三 軍事上必要缺クヘカラサルモノニシテ外部ヨリ得難キモノハ萬難ヲ排シテ之ヲ國內ニテ製造スルノ方法手段ヲ講セサルヘカラス之カ爲從來ノ技術ノ及ハサル範圍ニ於テハ新ニ製造法ヲ發見シ且其ノ發達ヲ計ラサルヘカラス

第四 代用品ノ研究ナリ即チ之ヲ得ルコト困難ナル原料ハ調辦容易ナル他ノ材料ヲ以テ之ヲ代用セサルヘカラス從來慣用ノ製品例ヘハ銅製品又ハ「アルミニウム」製品等ヲ他ノ原料ヲ以テ製作スルニ至ラハ素ヨリ其ノ新製品ハ使用者ノ意ニ滿タサル場合ナキニアラサルヘキモ此ノ利己感情ハ之ヲ放

棄セサルヘカラス

以上四種ノ補給方策ハ原料課カ當初漸ク決定シ得タル所ニシテ未タ以テ原料問題ノ解決ト爲スニ足ラサルモ之ニ依テ少クモ其ノ曙光ヲ認ムルヲ得タルカ如シ

第八 原料動員實行上ノ難關

一 徵發令ノ不備

厚料補給ノ根本方策ヲ前述ノ如ク決定セルモ之カ實行ニハ諸種ノ困難アリ即チ戰時經濟上ノ法律トシテ當時現行ノモノハ「フレデリック」大王時代ノ經濟狀態ニ適應スヘキモノニ過キスシテ其ノ徵發令ニ規定スル所ハ法理上ノ修飾詞ヲ除ケハ次ノ例ニ示ス如キ意味ヲ法文ト爲セルニ過キス

一中隊長某村落ニ來ルトキ村長ニ干草ノ供給ヲ命ス村長若義務ヲ盡ササル場合中隊長ハ特別ノ事情アルトキ自ラ干草ヲ徵取スルコトヲ得

此ノ如ク徵發令ノ不完全ナリシコトハ原料管理上遭遇セル障礙ノ第一ナリキ

二 原料動員ヲ理解セサル官憲トノ協同

原料動員遂行上ノ第二ノ困難ハ多數官憲ノ協同ヲ要スルコトナリ幸ニシテ普國以外諸聯邦ノ陸軍省ハ孰レモ喜テ工業動員編成ヲ普國陸軍省ニ委任スルコトヲ承諾セル爲大ニ事業ヲ容易ナラシメタルモ陸

軍省以外多數ノ官憲ト交渉ヲ要シ協同スルヲ必要トセリ然ルニ此ノ原料動員ノ問題ハ何人モ未タ嘗テ知得シアラサル新事業ナル爲從テ其ノ實行ノ困難ヲ伴フハ自然ナリ今日ト雖原料補給ノ如キハ自然ノ成行ニ委スルモ差支ナシトノ意見ヲ有スル獨逸人アリ殊ニ最初ノ六箇月間ハ原料課方何ノ爲ニ新設セラレ如何ナル事業ヲ爲シツアルヤ何人モ全然之ヲ知ル者ナカリキ千九百十四年十一月ニ於ケル獨逸議會ニテハ原料課ヲ以テ一ノ取引所ノ如ク看做シ恰モ靴用革類及羊毛ノ價格ヲ引キ下クル方法ノミヲ研究スル機關ナルカ如ク解釋セリ當時原料課カ國運ニ關スル重大任務ニ服シツツアリシコトヲ知レル者ハ極メテ尠カリキ此ノ如ク世人ノ全ク理解シアラサル情況ニ於テ原料課ノ業務ヲ遂行スルニハ尠カラサル困難ヲ感セリ工業家ニ照會ヲ發セル場合ニモ無意味ニ經濟界ヲ不安ナラシムルモノナル如ク感シタル者モアリ特ニ平時品製造業者中ニハ原料課ノ事業ヲ妨ケタル者尠カラサリキ此等諸種ノ困難ヲ意ニ介セス原料課ハ其ノ所信ニ向ヒ一步一步進ミタルカ遂ニ各官憲ハ之ヲ援助シ到ル處工業動員編成力時宜ニ適スルモノナルコトヲ理解スルニ至リ如何ナル難問題モ之ニ干與シ新手段ヲ以テ之ヲ解決スル能力アル組織ナルコトヲ周知スルニ至レリ

三 原料課職員トシテ適任者ノ缺乏

原料動員實行上第三ノ困難ハ原料課其ノモノノ編成ナリ既ニ記述セル如ク當初五人ニテ事務ヲ開始セルカ更ニ人物ヲ物色スルニ努メタリ然ルニ經濟界ノ人物ハ悉ク出征シアリ會工業界又ハ銀行界ヨリ

拉シ來リタル者ハ執務ニ、三日ニ至ラスシテ去ルコトアリ是等ハ日々午前九時ヨリ午後十二時ニ互ル劇務ニ耐ヘサルノミナラス業務ノ性質ヲ理解セサルカ爲全然趣味ヲ缺キタリ然レトモ眞面目ニ原料動員ノ業務ニ従事スル者モ漸クニシテ求ムルコトヲ得是等ノ中心人物一團トナリ皆能ク熱心精勵相協同シテ事ニ當レリ而シテ是等ノ人々ハ各種ノ職業ヨリ集リタルモノナルカ孰レモ共同ノ目的ニ向テ努力シ漸次從來ノ營業慣習ヲ脱シ專ラ國家的觀念ヲ以テ従事スルニ至レリ其ノ結果往々是等ノ人々カ箇人トシテ利害關係ヲ有スル工業ノ同業者ヨリ非難ノ聲ヲ聞クコトサヘアリタリ

原料課ノ職員ハ前述ノ如ク諸種ノ困難ヲ經テ得タル者ナレハ必スシモ各人從來ノ履歷ト課内ニ於ケル管掌業務ノ性質ト合致スルヲ得ズ電氣技師ニシテ全國ノ皮革ヲ管理スル者アリ冶金學者ニシテ化學工業事項ヲ擔任スル者アリ經濟學者ニシテ織物工業事項ヲ擔任スル者アリ唯護謨工業ノ爲ニハ管理者トシテ其ノ専門家ヲ配スルヲ得タリ

原料課ノ職員ハ殆ト毎日増加シ數箇月ニシテ普通官衙以上ノ多人數トナリ尙底止スル所ナキ狀態ヲ示セリ是各擔任事項毎ニ主宰者ノ下ニ分任者ヲ生シ各分任ハ更ニ幾多ノ分任ヲ要シ原料課ノ機關ハ益増加シ各種業務ノ範圍亦甚シク膨脹セル結果ニ外ナラス

是等ノ人員ハ絶エス之ヲ物色シ適任者ヲ得タル後之ヲ教育セサルヘカラス然ルニ是等普通ノ商人又ハ技術者ヲ官吏トシテ養成シ官吏の各種ノ交渉其ノ他複雑ナル業務ニ慣熟セシムルニハ尠カラサル時日

ヲ要シ特ニ新ニ擴張スル業務ニ通曉セシメ各人ノ職務ヲ確實適切ニ盡サシムルヲ得ルニ至ルコト容易ノ業ナラザリキ

四 原料課事務室ノ急速大膨脹

原料課ノ業務擴張ニ伴ヒ事務室ニ就テハ最困難ヲ感セリ陸軍省ハ當初僅ニ四室ヲ給セルノミ當時陸軍省ノ業務ハ極度ニ緊張シアリタル時機ナルヲ以テ此ノ四室ト雖陸軍省ノ爲ニハ大ナル割愛ナリキ然レトモ到底四室ニテ足ルヘクモアラス故ニ其ノ後幾ナラスシテ原料課ノ爲ニ二十室ヲ要求シ之ヲ得ルニ至リシカ尙狹隘ニシテ六十室ヲ使用スルニ至レリ之カ爲事務室ノ移轉等容易ナラス省内ノ各課ハ數十年來同一室ニ在リタルモノナルヲ以テ無慮六萬ノ簿書ヲ他ニ移ササルヘカラサルカ如キ混雜ヲ生セリ此等ハ數箇月ニ互リ漸ク實行スルヲ得タルカ此ノ間原料課附近ノ廊下ハ事件ノ處理ヲ待ツ者充滿シ多クハ午前半日空シク待合セ居ル狀態ニシテ職員ノ新備入モ室ノ關係上一時見合セサルヘカラス從テ業務繁忙ノ極ニ達シ其ノ進捗遲滯セサルヲ得サリシナリ此ノ如クナルヲ以テ已ムヲ得ス陸軍省外ニ事務室ヲ擴張シ「ウイヘルム」街ニ於ケル普通民家ヲ徵用シ之ニ所要ノ設備ヲ施スヲ要スルニ至レリ今日(千九百十五年末)ニ於テハ「ヘーデマン」街(Hedemannstrasse)ヲ延長セル表通り全部ヲ原料課ニ使用シアリ遠カラス尙之ヲ擴張スルニ至ルヘシ

五 極端ナル劇務

原料課ハ日々動員上ノ新機關ヲ編成セサルヘカラス所要ノ命令規則ヲ立案補修改定セサルヘカラス工業家トノ交渉、會議ノ召集、他ノ官廳トノ交渉、新入職員ノ指導其ノ他日々二千號ニ達スル文書ノ處理、外來者ノ應接等業務輻輳シ連日連夜徹宵尙足ラサルノ有様ナリ然レトモ既ニ述ヘタル如ク社會一般カ工業動員ノ何物ナルヤヲ知ラザリシコトハ却テ原料課業務上ノ進捗上好都合ナリキ是今日食糧問題ニ於テ見ル如ク各種ノ論評ヲ試ムル者尠ク原料課ノ爲ス所ハ工業界ノ爲喜ハシカラサル「餘計ナ世話焼」位ニ感セラレタルニ過キサリシヲ以テナリ唯後ニ至リ多少ノ面倒ヲ生セル場合ナキニアラス即チ時々大學教授原料課ニ來リ同課ノ事業ハ根柢ヨリ誤レルヲ力説シ根本的變改ヲ要スト迫ルアリ或ハ代議士來リ大學教授ノ所論モ原料課ノ考モ誤レリ其ノ方法ハ斯ノ如クナラサルヘカラスト論スルアリ然レトモ是等ハ要スルニ多少ノ煩累タルニ過キスシテ原料課ノ業務遂行ヲ妨グルコトナカリキ

第九 原料動員ト徵發令

原料課ノ業務遂行上第一ノ緊要問題ハ法律事項ニシテ徵發令ニ關スル見解ナリ當時現行徵發令ノ基礎觀念カ甚タ不十分ナルモノナリシハ既ニ述ヘタル如クナルヲ以テ原料課カ希望スル如ク經濟上ノ物資ヲ運轉スルカ爲ニハ此ノ基礎觀念ヲ根本的ニ改正セサルヘカラス戒嚴令(Belagerungsgesetz)ハ原料課動員上之ヲ有利ニ解釋シ得ル點多キ爲便宜ヲ得タルコト尠カラサルモ後ニハ戒嚴狀態(Belagerungs

「zustand」ニ關係ナク新法律ヲ制定シ以テ一切ノ事業ヲ解決セラルルニ至レリ即チ徵發(Beschlagnahme)ナルコトハ從來ノ如ク物資カ國家ノ所有ニ移ルコトヲ意味セスシテ物資ノ取扱ニ制限ヲ附シタルニ外ナラス換言スレハ徵發セラレタル物資ハ舊所有者ノ意思ニ依リ如何トモスルコト能ハスニ法律ノ命スル所ニ依リ左右セラルルモノトス即チ此ノ物資ハ戰爭ノ目的ニ供スル爲之ヲ販賣シ又ハ加工シ又ハ運搬シ又ハ任意ノ形狀ニ變更セラルルモ妨ナシト雖其ノ物資ハ必ス戰爭ノ遂行ニ供用セラルヘキモノナルコトヲ法律ニテ拘束シアルモノトス

最初ノ時期ニ於テハ此ノ徵發ノ新意義カ一般ノ者ニ理解セラルルコト甚タ困難ナリキ從テ寧ロ物資ヲ沒收(Konfiszieren)スルヲ適當ナリト論スル者多カリキ然レトモ今多種複雑ノ原料中一例トシテ金屬原料ノミニ就テ説明セムニ假ニ銅、錫、ニッケル、「アルミニウム」「アンチモン」「ウオルフラム」「クローム」等ノ金屬ヲ徵收(Bequieren)セリトセムカ原料課ハ此等各種金屬毎ニ莫大ナル量額ヲ所有スルニ至ルヘク日々各方面ヨリ此處ノ金屬ハ如何ニ扱フヘキヤ彼處ノ金屬ハ如何ニ處理スヘキヤ桿材トスヘキヤ板物トナスヘキヤ鑄物トナスヘキヤ何處ヘ引渡スヘキヤ等ノ質問ハ矢ノ如ク殺到シ來ルヘク急速ニ使用スヘキ必要アル原料ニ對シ此ノ如キ狀態ニテハ到底整理スルコト能ハサルヘシ之ニ加フルニ徵收セル原料ヲ新計畫ニ依リ再々配送スルマテ其ノ原料ニ關スル加工作業其ノ他ノ處理ハ全國ニ互リ一時中止セサルヘカヲサル不都合ヲ生スヘシ又各金屬ノ量額莫大ニシテ幾十億圓ノ價格

ニ達スヘク此等性質不明ノ金屬ノ監督及之ニ伴フ收支計算ハ到底其ノ煩ニ耐ヘサルヘキナリ

前述徵發(Beschlagnahme)ノ新意義ハ之ヲ實際ニ適用シタル所ニ徵スルモ好結果ヲ呈シ獨國戰時經濟ニ於テ最早消滅スルコトナキモノナリ然レトモ此ノ法律上新形式ノ實行ハ頗ル冒險的ナリキ是一物件ヲ徵發スルヤ其ノ瞬時ヨリ平時經濟ハ停止スルモノニシテ例ヘハ某金屬工業主ノ許ヨリ金屬ヲ徵發セラレタリトセハ同工業主ハ其ノ以後自己ノ平時事業ヲ繼續スルコトヲ得ス此ノ工業主ハ軍需品ノ製造ニ専ラ従事セサルヘカラス即チ工場設備、機械、工作作業ノ方式及製造品ハ總テ戰時作業ノ目的ニ合スル如ク改メサルヘカラス同工業主ハ此ノ時ヨリ全ク新ナル經濟ニ移ルモノトス故ニ工業家特ニ金屬工業家、化學工業家及織物工業家ノ爲ニハ重大ナル荷重ナリシナリ千九百十四年末徵發ニ關スル新規則ヲ發布スルヤ「ラーテナウ」氏箇人經營ノ電氣會社ノ一職員同氏ヲ訪ヒテ同法令ノ無暴ナルヲ責メ之カ爲同會社六萬ノ職工ハ糊口ノ資ヲ失フニ至ルヘキヲ警告セル程ナリキ

何レニシテモ既ニ法令ハ發布セラレタリ然レトモ尙二箇月間ハ工業家ニ原料使用ノ自由ヲ或ル程度ニ承認セリ此ノ二箇月間ノ猶豫期日ハ短小ナリト雖尙當時ノ情況ニ於テ大英斷ナリシナリ是攻圍要塞ノ如キ國內ニ於テハ一噸ノ硝石ト雖之カ徵發ノ猶豫ハ或ハ一大會戰ノ勝敗ニ影響スルコトナキヲ保シ難ケレハナリ

原料動員ニ關スル法令發布後二箇月ヲ經テ同國工業ノ編成替ハ實施セラレタルカ獨國工業界ハ之ニ關

シテ物議ヲ醸スコトナク又中途ニ挫折若ハ動搖スルコトナク大規模ニ此ノ事業ヲ遂行シ猛進能ク其ノ目的ヲ達成セリ此ノ大成功ハ永久忘ルヘカラサル獨國工業界ノ名譽ニシテ佛國英國又ハ米國其ノ他敵國(獨逸ヨリ見テ)或ハ半敵國側執レノ邦國ト雖摸倣シ得サル所ナリ

以上ハ徵發ナルコトノ新解釋ニシテ之カ適用ハ實ニ經濟上ノ編成替トナリタルモノトス

第一〇 原料集散貯藏組織ノ新設

徵發ナルコトノ意味ヲ改メ之ヲ實際ニ施行スルコトハ原料動員ニ於テ第一ノ難問題ナリシカ第二ノ重要問題ハ前述ノ如ク動員セル原料ヲ如何ナル方式ニテ分配シ且所要ノ箇所ニ所要量ヲ準備スヘキヤヲ解決スルニ在リタリ左ニ之ヲ略説セム

陸軍及海軍行政部ハ製作注文ヲ其ノ欲スル製造所ニ向ヒ發スルノ自由ヲ有セサルヘカラス原料課ハ他ノ官廳ニ對シ注文箇所ヲ指定スルコト能ハス又一方ニ於テ陸軍又ハ海軍ノ注文ヲ受ケタル工場ハ所要ノ原料ヲ所要量丈ケ補給セラレサルヘカラス以上ノ要求ノ下ニ原料ノ集收、貯藏及配給ヲ適切ナラシムル爲之ニ任スル原料動員上ノ機關ヲ設ケサルヘカラス又原料配給ノ爲ニハ物資流動ノ方式及運輸ノ方法ヲ新ニ研究セサルヘカラス是ニ於テ更ニ一新事業ヲ起スヲ必要トセリ即チ戰時會社(註原料動員ニ任スル戰時特設仲介機關ナリ臨時軍事調査委員月報第一號五〇—五三頁參照)ノ設立即チ是ナリ今日ニ於テハ戰時會社ハ獨國內ニ多數存在シ一般ノ

熟知スル所トナリ恰モ昔ヨリ存在セシモノノ如キ觀アルニ至リシモ原料動員ノ當初ニ於テハ此等戰時會社ノ新設案ハ殆ト架空ノ論ノ如ク考ヘラレ原料課内ニ於テ其ノ他ノ事情ニ通スル人ト雖尙且此ノ案ノ實行シ得ヘキモノナルヤ否ヤニ就テ疑ヒシ者尠カラサリシ程ナリキ

貨物ノ運輸及移動ハ之ヲ自然ノ情態ニ放擲シ置クコトナク一定ノ計畫ニ依リ規整スルコトト爲セリ斯ノ如ク貨物交通ニ於テハ統一主義ヲ取レルモ他方工業上ニ於テハ各種新組織毎ニ大規模ノ獨立自治的經營ヲ獎勵セリ各種戰時會社ノ經營即チ是ナリ然ルニ此等戰時會社ノ新設ニ關シテハ多少ノ論評アリ或者ハ寧ロ官衙ノ擴張ヲ以テ之ニ代フヘカリシモノナリト論セリ今ヤ此ノ種ノ批難ハ自然ニ消滅セリカ此ノ如キ事業カ到底官吏ニ適セサルコトハ試ニ戰時金屬會社又ハ戰時化學工業品會社(註共ニ伯林事調査委員月報第一號五〇頁參照)ノ實況ヲ一瞥セハ自ラ明ナリ同會社ニハ數千人ノ人員會社ノ業務ニ從事シアリ外來者ノ應接、文書ノ處理、貨物ノ運送及金錢仕拂等業務ノ輻輳混雜名狀スヘカラス此ノ如キ業務ハ之ヲ官吏ニ強要スヘキ性質ノモノニアラス平時ヨリ此ノ種ノ事ヲ職業トスル者ニ委任シ自營セシメサルヘカラサルモノナリ

戰時會社ノ經營ハ前述ノ如ク自治ノ考案ニ基クモノナレトモ而モ尙絕對放任ノモノニアラス此等諸會社ハ皆官憲ノ嚴重ナル監督ヲ受クルモノトス各省其ノ他帝國官憲ノ代表者ハ無制限ノ干涉權ヲ有ス又戰時會社ハ公共的性質ノモノニシテ配當金ヲ分配スルコトヲ得ス

會社ノ機關トシテハ社長及監査役ヲ有スルノ外官吏又ハ商業會議所議員ニ依リ統轄スル獨立ノ委員會即チ評價配給委員會 (Schätzungs und Verteilungskommission) アリ同委員會ハ此ノ如キ組織ヲ以テ株式會社即チ營業體ト官憲組織 (註^{諸官}) トヲ連絡スル中間機關トシテ存立スルモノニシテ將來ニ於テモ此ノ形式ノ跡ヲ貽スニ至ルヘシ

評價配給委員會ノ任務ハ原料供給ヲ一手ニ掌握シ官憲ノ各工場ニ發スル軍需品注文ノ多寡及種類ヲ標準トシ之ニ應スル如ク當該軍需品製造工場ヘ一定ノ價格ト條件トヲ以テ所要材料ノ分配セラルル如ク原料ノ移動ヲ統轄指導スルニ在リ

戰時會社ノ新設ニ就テハ工業家側モ亦必スシモ之ヲ歡迎セサリキ金屬工業家ハ多ク不平ヲ洩ラササリシモ全ク利益金ヲ產ミ出タササル株式會社カ何ノ爲ニ必要ナルヤトノ疑問ヲ有シ從來獨立自營セル工業ハ將來ト雖何等干涉ヲ受クル必要ナシト爲セル者モアリ然レトモ結局金屬工業家ハ戰時會社ノ設立ニ同意セリ蓋シ之カ爲多ク損失ヲ來タスコトナキヲ認メタルト原料課ニ多少ノ厚意ヲ有シタルカ爲ナリシナラム

戰時會社ニ對スル化學工業家ノ態度ハ金屬工業家ノ夫レトハ大ニ異レリ交渉セル化學工業家ハ「ライオンランド」地方ノ大富豪ノミニシテ多數勞働者ノ傭主ナリ自信アリ又大責任アル人々ナリ是等ノ化學工業家ハ最初戰時會社ナル新事業ニ就テ多少不安ヲ有シ中ニハ有力家ニシテ「ライオンランド」地方同業

者間ニ奔走シ警告ヲ加ヘタル者モアリ然レトモ結局創立會議トナリタルカ同會議中硝石ニ關シ之ヲ無制限ニ各工業者ニ交付スルコトヲ爲ササルニ至ルヘキヲ言明スルヤ俄ニ不穩ノ狀ヲ呈シ容易ナラサル事態ヲ醸サルトセルカ結局戰時會社ノ創立ヲ見ルニ至レリ今日ニ在リテハ化學工業家ノ有力ナル後援ト功績ハ大ニ之ヲ推賞セサルヘカラス即チ化學工業家ハ當初戰時會社ノ創立ニ就テ容易ニ納得セザリシモノノ如キモ一タヒ之ヲ承認決議スルヤ大膽且熱心ニ事業ヲ遂行シ其ノ主動的ナルコト、不屈不撓ナルコト共ニ獨國戰時經濟界ニ於テ最上位ニ在ルモノト謂フヲ得ルニ至リタルモノトス

一時ハ殆ト毎週新戰時會社ノ創立ヲ見タリ即チ戰時金屬株式會社ヲ以テ始マリ黃麻、羊毛、護謨、綿、革、生皮、亞麻、亞麻製品、馬毛ノ會社若ハ需給整理所 (Abrechnungstellen) 相次テ起レリ總テ此等會社又ハ需給整理所ノ創設ニハ夫々準備會議、關係工業家間ノ協議、基礎條件ノ打合せ、職員ノ選任、事務所ノ設置等ノ爲數週間ノ時日ヲ要セリ又同種工業家ノ範圍ニ於テ重大ナル責任ニ耐フヘキ人物ハ益缺乏シ尠カラサル困難ヲ感セリ

今日 (千九百十五年末) ニ在リテハ此等會社、其ノ支社、派出事務所ノ事務員數千人ニ達シアリ取扱物資ノ價格數億圓ヲ以テ算ス

第一一 占領地ニ於ケル原料行政

第一〇 原料集散貯藏組織ノ新設 第一一 占領地ニ於ケル原料行政

此ノ間原料課ノ業務ハ多端ナリキ一方ニ於テハ徵發物資ハ山ノ如ク堆積シ且其ノ管理者ト絶エス交渉ヲ要シ他方ニ於テハ動員諸機關漸次成立シ之カ指導監督及協力ヲ要シ尙之ニ伴ヒ課ノ擴張、業務ノ處理繁忙ヲ極ム然ルニ更ニ又重大ナル新任務加ハリ來レリ

獨軍ハ到ル處ニ成功シ白耳義ノ大部、佛國ノ一部ヲ領有スルニ至リ露國ニ於テモ著シク前進セリ

..... (原文缺如) (原註 原料調達上ノ第一次主要資源地ニ於ケル原料行政組織及業務ニ關シテハ後日ニ譲ル)

第二二 空中窒素工業

原料課ハ尋テ世界貿易ニ大影響アル各種事業ヲ開始スルニ至レルカ其ノ最大規模ノモノハ窒素工業ナリ
戦争ニ缺クヘカラサル爆薬ハ窒素化合物ヲ原料ト爲スコトハ普ク人ノ知ル所ニシテ戦争ノ遂行ハ或ル意味ニ於テ一ニ窒素問題ニ係ルト云フモ過言ニアラス

戦争ノ當初獨國內窒素原料ノ貯藏高ハ悲觀スヘキ計算ニアラサリシ今假定ノ數字ヲ以テ當時ノ情態ヲ説明セムニ假ニ九十噸ノ窒素カ國內ニ在リタリトシ尙五十噸ハ儘ニ「オステンンド」及「アントウアーブ」ニテ之ヲ得ヘキ豫想アリタリトセム即チ合計百四十噸ニシテ一箇月十噸ヲ要スルモノトセハ十四箇月

ヲ支ヘ得ヘシ此ノ數字ハ實數ニアラサルモ果シテ此ノ如キ景況ナリシモノトセハ供給ハ需要ヲ充タシ得ル如ク感スヘシ九月ノ初ニ至リ戦争ハ益發展セリ原料課ハ常ニ窒素ノ計算ヲ爲シ需要者側ヨリ提供セル窒素所要量ト比較スルニ常ニ不足ナキヲ感セシメタリ然ルニ東方戰場ノ戰況ニシテ西方戰場ニ於ケルカ如キ大活動ヲ爲スニ至ラハ如何戦争ノ繼續カ豫想ヨリモ著シク延長シ範圍モ擴大スルニ至ラハ如何其ノ場合窒素原料ノ補給ヲ如何ニスヘキヤ等ノ研究ヲ始ムルニ至リ最早樂觀ヲ許ササルニ至レリ是ニ於テ「ラーテナウ」氏ハ時ノ留守陸軍大臣(「フォン・」)ニ此ノ事情ヲ陳述シ化學工業界ノ能力ノ許ス範圍ニ於テ化學工場ヲ新築セシムルコトノ認許ヲ請ヘルカ大臣ハ宏量、冷靜、決意兼ネ備ハレル態度ヲ以テ即時全權ヲ「ラーテナウ」氏ニ委任シ化學工業家ト交渉ヲ開始セシムルコトナレリ

斯クテ工業上ノ重要問題タル窒素工業ハ大規模ニ之ヲ實施スルニ至レリ當時化學工業界ハ此ノ事業開始ニ就テ毫モ之ヲ怪ムノ色ナク數多ノ大工場新築案ハ直ニ關係工業家ノ同意スル所トナリ契約ハ大藏省ノ認許ヲ得テ千九百十四年十二月末調印セラレ窒素原料製造ヲ獨國內ニテ開始スルニ至リ世界的問題ヲ解決セルノミナラス戦争遂行上獨國ノ技術的危懼ヲ除去スルコトヲ得タリ

此等多數ノ工場新築セラレツツアルニ當リ一方戰場ヨリノ報告ハ最初ハ十噸ノ窒素ニテ十分ナリト云ヒ間モナク十六噸、二十噸、二十一噸、二十七噸ト云フ如ク漸次要求増加シ來レリ此等ノ數量モ亦單ニ情況ヲ例示スルニ過キスシテ實數カ幾何ノ程度ニ上リシヤハ茲ニ明言スルノ限ニ在ラス要スルニ當

初ノ積算數ハ僅ニ所要量ノ一部分ヲ充タシ得ルニ過キサリシ結果ニ終レリ故ニ若此ノ情況多少明瞭トナルヲ待ツル爲窒素工場新設ノ著手ニ、三箇月遅延シタリトセムカ一時窒素缺乏ノ時期ヲ生シ恰モ「ガリシヤ」進軍ニ於ケル彈藥大需要ノ時期（註臨時軍事調査委員月報第十卷第七號二〇九—二二〇頁參照）ニ於テ彈藥補給ノ難境ニ陥リシナラム

第二三 窒素工業以外ノ新事業

化學工業ニ關スルモノ特ニ硝酸工場ハ獨國カ現戰役中新ニ開始セル製造事業中最重要ナルモノナルモ此ノ以外ニ於テモ多數ノ工場ヲ設置セリ金屬精煉工場及金屬再生工場（Wiedergewinnungsanlagen）等はナリ其ノ他鑛產額ヲ増進シ又電氣化學諸工場（Elektrolytische Werke）及電氣爐諸工場（Elektrothermische Werke）ヲ新築セリ此等事業ハ原料課カ直接干涉セルモノニアラサレハ原料會社（戰時會社）ノ仲介ニ依リ成立セルモノトス

第一四 原料最高價格ノ規定

原料課ハ尙業務ノ一トシテ原料價格調節ニ關スル事項ヲ擔任スルニ至レリ元來此ノ問題ハ工業動員トハ間接ノ關係ヲ有スルニ止マルモ原料經濟ノ見地ヨリ原料課ノ業務ト離ルヘカラサルモノナリ

既ニ述ヘタル如ク千九百十四年十一月ニ於ケル帝國議會ハ原料課ヲ以テ原料市價ノ引下策ヲ講スル爲存立セルモノノ如ク考定セリ從テ同議會大連合委員會ニテハ若干種原料價格ノ暴騰ニ關シ原料行政當局者ノ考慮ヲ要スルコトヲ指摘警告シ直ニ之カ善後策ヲ要求セリ然レトモ原料課ハ一層重大問題タル原料缺乏救済策ニ殆ト全力ヲ傾注シ來リタルモノニシテ其ノ價格調節ノ如キ緊要ナル事項ニ相違ナキモ寧ロ第二義ニ屬スル問題ノ研究ニハ比較的十分ナル力ヲ用ウルコト能ハサリシナリ然レトモ當時ニ於テハ既ニ之ニ關スル方策モ殆ト決定シアリタリ故ニ先ツ金屬ヨリ始メ原料最高價格ノ規定ニ著手セリ此ノ金屬最高價格指定ハ決シテ單簡ナルモノニアラス是單ニ多種重要金屬ニ就テ研究ヲ要スルノミナラス其ノ合金、古金及在來加工品ニマテ影響スレハナリ然レトモ原料課ニ於テ種々研究ノ後遂ニ一表ヲ調製スルヲ得ルニ至レリ同表ハ各種工業ノ全部ニ互リ規定セルモノニアラス又商品ノ全部ヲ包含スルコトヲ得サリシモノナルカ他ニ方法ナク聯邦議會モ同表ヲ承認セリ

金屬ニ次テ羊毛及羊毛製品ノ最高價格ヲ規定セリ此ノ事タル專門家間ニテハ殆ト不可能ナリトセラレタルモノニシテ羊毛及羊毛製品ノ仕入元ノ多樣ナル上、品質ノ複雜之ニ加ハリ製法ニ於ケル種々ノ階梯アリ之ヲ分類セハ數百種ニ達ス然ルニ原料課ニテ種々研究ノ結果現品所有者ニ苛酷ナル要求ヲ爲サスシテ而モ戰時經濟ノ要求ニ合スヘキ標準ヲ知ルヲ得タリ

第一五 代用原料ノ研究及普及

代用原料ノ研究及普及モ亦原料課ノ重要ナル業務ナリ普國各種制服ハ其ノ所要原料ヲ變更セサルヘカラサルニ至リ其ノ地質ニハ梳毛、撚糸又ハ其ノ他ノ材料ヲ代用セリ軍用ノ金具、鉛及其ノ他ノ附屬金具ニハ缺乏原料ノ使用ヲ廢スルコトナレリ彈藥製造ニ關スル種々ノ缺乏金屬ハ亞鉛若ハ鋼ニテ之ヲ補填セリ電氣材料中電線及機械附屬品ノ一部ニモ從來慣用ノ金屬以外ノモノヲ用ウルニ至レリ之カ爲同時ニ製作品ノ價格ヲ減スルコトヲ得タリ化學工業ニ於テモ代用品製造ノ大工場起リタルカ其ノ中ニハ從來熟知ノ代用原料モ新發見ノ代用原料モアリ其ノ他織物工業ニ於テスラ尙且再生又ハ代用手段ノ採用ヲ必要トスルニ至レル情況ニシテ戰爭前ヨリ慣用ノ原料ノミヲ依然使用シアル工業ノ種類ハ極メテ稀ナリ又多クノ場合此等代用品使用ノ爲同時ニ諸種ノ利益ヲ得タリ

第一六 原料課ノ業務

千九百十五年初頃ニ於ケル原料課ノ情況ヲ略說セムニ同課ノ總務班ハ關係一般行政及根本問題ニ關スル事項ヲ掌レリ即チ

一 官憲間ノ交渉

- 二 工業動員上ノ組織ニ關スル新施設及關係法規ノ立案
 - 三 陸軍大臣ノ決裁ヲ請ヒ又ハ同大臣ニ説明スヘキ事項ノ立案
 - 四 各種工業團、議會議員及利害關係者トノ商議
 - 五 經濟及法律問題ノ審議研究
 - 六 人員補充
 - 七 原料課發送接受文書ノ整理
 - 八 四分ノ一年報ノ編纂
 - 九 工業動員組織ニ關スル一切ノ事項
- 此ノ他同班ニハ各種原料專任課員アリテ或ハ某一種原料ノ全般ヲ掌リ或ハ某一種原料ノ業務ヲ分擔ス即チ金屬掛課員、化學工業品掛課員、綿掛課員、羊毛掛課員、黃麻掛課員、護謨掛課員、革掛課員、生皮掛課員、木材掛課員、有機化學工業品掛課員是ナリ此等原料業務ハ原料課本來ノ主任務ヲ形成スルモノニシテ各專任課員ハ各申告所、各戰時原料會社、同支社、同派出所ト協同シ業務ヲ實施ス
- 總務班ノ外ニ徵發班アリ左記事項ヲ掌ル

一 徵發物資ノ集散ヲ規定シ且整理ス

二 徵發及徵發券(Pelegeleine)ニ關スル法規事項

三 物資所有主トノ交渉

四 各種施設ノ審議研究(一ノ検査官 組織ニ依ル)

元來統計事項ヲモ此ノ班ニテ擔任セシカ其ノ後此ノ業務ヲ同班ヨリ分離シ各種申告所ニ移セリ
徵發班ハ尙一大官設機關トノ協同業務ヲ有シ之ニ關スル刷込用紙及印刷物ハ軍團司令部ヲ經由シ
日々獨逸本國外ニ送達セラル

原料課ハ物資收支記簿、物資輸送及物資監督ニ關スル事項ヲ掌ラシムル爲特別ノ一附屬課ヲ有ス十萬
臺ノ臺車 (Doppellader) ハ獨逸軌道上ニ運轉シアリテ國內二百箇ノ倉庫ニ物資ヲ集積ス此等ノ倉庫ハ
新ニ設置セルモノニシテ其ノ監視、物資ノ荷造、輸送、荷卸及數量點檢等同附屬課ノ業務ハ多端ニシ
テ尙此等物資ヲ戰時原料諸會社ニ分配シ收支計算ヲ爲ササルヘカラス

輸送實施ハ輸送局ニテ取扱ヒ輸送料金ノ監督ハ同局ニテ信用スル會社ニ擔任セシム又物資取扱所トシ
テ獨逸最大ノモノノ一タルヘキ需給整理所 (Eine Abrechnungsstelle) ハ貨物發送、積換地 (ハスベ)
Haspe 「フランクフルト」 Frankfurt 「マンハイム」 Mannheim) ニ於ケル著荷、倉庫ニ於ケル積込、各
費消先宛積出(倉庫ヨリ)ニ關シ記帳ヲ掌ル

千九百十五年四月一日「ラーテナウ」氏ハ原料課長ヲ辭シ陸軍省ヲ去リタルカ當時マテニ同課ハ既ニ
完成シ業務整頓スルニ至レルモノニシテ同氏以外ノ職員ノ大部ハ同課ニ殘リ「ケート」 (Koeht) 少佐

後任課長トナリタリ其ノ後同課ハ著シク規模ヲ擴張シ多數ノ機關ヲモ増設セルカ同課ハ大ニ官衛的ニ
完備スルニ至レリ同課ノ職員數、建物ノ面積及業務範圍ハ陸軍省及鐵道院ヲ除キ普國諸官衙中之ニ
及フモノナシ而モ此ノ大機關ハ僅ニ八箇月間ニ成立發展セルモノナリ事務ニ從事スル官吏ハ今日
(千九百十五年春) 五百人ヲ算スヘキ戰時諸會社及其ノ分支社在職人員ハ數千人ニ達スヘシ
千九百十五年春「フアルケンハイム」將軍伯林ニ來リ原料需給狀態如何ヲ「ラーテナウ」氏ニ質問セ
シカ同氏ハ各種重要原料ニ悉ク補給方法確立シ戰爭遂行上最早原料問題ハ何等憂フヘキモノナシト答
フルヲ得タリ尙首相ハ帝國議會ニ於テ此ノ事實ヲ認定證言セリ即チ一部原料ハ如何ニ多量ニ之ヲ要ス
ルモ無盡藏ニ補給スルコトヲ得ヘク其ノ他ノ原料ニ在リテモ協商側カ如何ニ戰爭ヲ永續スルトモ戰
間ノ爲ニハ補給力十分ナリ之ニ加フルニ若干種ノ原料ニ關シテハ同盟友邦ノ爲其ノ補給ヲ援助シ得
ルニ至レリ

第一七 海上封鎖力英獨兩國經濟界ニ及ホセル影響

英國ノ原料封鎖ハ斯クテ無効ニ終レルノミナラス反對ニ英國自ラ之ニ苦シミツツアリは一ニハ英國ノ
拘束ナキ經濟狀態力之ヲ然ラシメタルモノナリ英國ハ自由ニ物資ヲ外國ヨリ購入スルコトヲ得又購入
シツツアリ然レトモ外國ニ於ケル英國商人ノ購買行爲ハ英國ノ最愛フル所ナリ是購入ハ輸出入ノ均衡

ニ影響スルノミナラス物資購入ニハ費用ヲ要シ且其ノ支拂ハ目下輸出品工場ニシテ軍需品工場ニ變形セラレタルモノアル爲輸出物資ヲ以テ十分ニ之ヲ補償スルコトヲ得ス其ノ結果外國ニ於ケル購買ハ戰前ノ英國輸出品工場ヲ英國外ニ驅逐新設セシムルト同一結果トナレハナリ

獨國ハ國內經濟ヲ強要セラレタルモ既ニ之ニ對スル處置完成シアリ之カ爲種々ノ苦心ヲ重ネ又不利ヲ招キタル點ナキニアラサルモ自國內ニ於テ貨幣ノ循環的流動ヲ可能ナラシムルノ力ヲ得タリ獨國ノ費消スル物ハ獨國內ニ於テ製造ス國外ニ出ツルモノハ獨國ノ火炮カ放射スル彈藥ニ止マリ國家ノ費消スル物ノ對價ハ國家之ヲ支拂ヒ其ノ代金ハ再ヒ國債トシテ國庫ニ還リ又新ニ循環ス獨國ノ經濟ハ封鎖商業國內ニ於テ更ニ集結統一セラレタルモノナリ

現戰爭間ニ於ケル獨國戰時經濟ハ將來永ク種々ノ方面ニ於テ其ノ色彩ヲ止ムルニ至ルヘシ食糧問題ニ關スル經濟政策、原料ニ關スル新觀念ノ如キ其ノ最現著ナルモノナリ從來代用品ヲ使用シ得ヘカラスト考定セラレタル物ニ多クノ代用品ヲ使用セルカ此等ノ傾向ハ依然存續スヘク外國產ノ金屬ヲ使用セルモノハ自國產ノモノヲ使用スルニ至ルヘク外國生產品例ヘハ智利硝石ノ如キハ將來之ヲ輸入スルヲ要セサルニ至ルヘシ硫酸ノ如キ亦其ノ供給ヲ海外ニ仰クノ必要ナキコトナルヘシ此ノ戰時經濟ハ獨國ヲシテ二重ノ意味ニ於テ海外諸國ニ對シ經濟上獨立セシムルモノナリ是ニ於テ今後ハ物資輸入元タルヘキ諸國ニ對シテモ且又獨國生產品ノ輸出先タル諸國ニ對シテモ其ノ輸出入景況ニ甚シク苦慮

スルヲ要セス此等ノ諸國ニシテ獨國品ノ輸入ヲ關稅政策ニ依リ制限スルトキハ其ノ國ノ獨國向輸出品ニ對シ容赦ナク對抗手段ヲ講シ得ルヲ以テナリ

從來完成品ノ關稅保護ハ世ニ知ラレタルモ原料保護問題ハ今日迄研究セラレサリキ然ルニ將來獨國ニ於テハ硝石ヲ智利ヨリ輸入スルトモ國內ノ空氣中ヨリ製造スルトモ任意ニシテ單ニ双方ノ價格ニ關スルノミ然ルニ獨國以外ノ諸國ニ在リテハ例ヘハ某金屬ヲ米國ヨリ輸入シ其ノ代價ヲ支拂フト之ニ反シ自國內ニテ同價格ノ代用金屬ヲ使用シ内地品ニテ用途ヲ充タストノ兩策孰レニテモ隨意ニ之ヲ實行シ得ルノ自由ヲ有セサルヘキナリ

獨國ニ在リテハ原料保護ハ今ヤ通常ノ事トナリテ普及シアリ同國家經濟上濃厚ナル一色彩トナレリ

第一八 平時ニ於ケル工業動員準備

以上ハ一般經濟界ノ現在及將來ニ對スル影響ナルモ既ニ述ヘタル獨國工業動員組織ノ將來ヲ如何ニスヘキヤハ尙研究ヲ要ス「ラートナウ」氏ノ見ル所ヲ以テスレハ原料課ハ平和克復後ト雖廢止セラレサルノミナラス經濟參謀本部ノ核心點ヲ形成スルニ至ルヘシ恐ラク其ノ名稱ハ之ヲ變更セラルルニ至ルヘク軍事經濟課(Kriegswirtschaftsbehörden)ノ如キ蓋シ最適當ナル稱呼ナルヘシ是現在ニ於テモ原料課

所管事項ノ實質ハ種々ノ意味ニ於テ此ノ名稱ニ副フモノナレハナリ獨國ハ決シテ再ヒ經濟上不準備、無計畫ノ戰爭ヲ開始スヘカラスルノミナラス開始スルコト不可能ナリ故ニ將來平時ノ狀態ニ於テハ最熱心ニ戰爭ニ對スル經濟上ノ準備ニ力ヲ注カサルヘカラス之カ爲ニハ單ニ缺乏原料ノ供給ヲ絶エス國內ニ仰クコトヲ得ルノミナラス如何ニ多量ノ原料ヲ要スル場合ニモ缺乏セサル如ク之ヲ國內ニ保有セサルヘカラス又大倉庫ハ之ヲ存置スルヲ要シ此等倉庫ニ關スル法令規則モ亦備ハラサルヘカラス然レトモ必シモ之ヲ國有倉庫ト爲スヲ要セス唯之ヲ補助シ監督セシムルコトハ避クヘカラスルコトトス之カ爲尙大規模ノ常置機關ヲ設ケ統計及原料行政ヲ管掌セシメサルヘカラスルハ自然ノ結果ナリ此ノ他現戰爭ニ於テ強制的ニ實現セル工業上ノ編成替ハ將來ニ於テハ所要ニ臨ミ自然的ニ且動搖ナク之ヲ實施シ得ル如ク平時ヨリ準備セサルヘカラス又一般經濟動員計畫ヲ策定シ絶エス之ヲ補修改定セサルヘカラス尙經濟上ノ充員召集令狀 (Gestellungsbefehle) 亦之ヲ準備ヲ要スヘク其ノ充員召集令狀ハ種類多様トナリ數千種ニ上ルヘシ該令狀ニハ例ヘハ略次ノ如キ意味ヲ記載ス

何某ハ動員第二日ニ於テ何町何番地何某宅ニ出頭シ何々戰時會社ノ社長トナリ同會社創立準備事業ヲ指揮シ尋テ所要委員ヲ組織スヘシ會社ノ定款ハ之ヲ交付ス

機械工場及其他ノ事業ニ對シテモ略同様ノ令狀ヲ要ス此ノ場合概ネ次ノ如キ意味ヲ記載ス

何某ハ動員第三日ニ於テ所有工場ノ何部ト何部トヲ引拂ヒ何々工具用機械ヲ提供スルヲ要ス同時ニ

何品幾何ノ製造ヲ負擔スヘシ

職工問題ニ於テモ召集免除及其ノ解除ニ關シ平時ヨリ規定シ置カサルヘカラス各工場ハ戰時缺クヘカラサル人員ニシテ同工場ニ殘留ヲ要スル者ト戰時同工場ヨリ解放スヘキ者トヲ區分シ其ノ人名ヲ知リアルヲ要ス

商策課ヲ設ケ戰時敵國カ實施スル封鎖政策ニ對抗スル如ク中立國ト交渉シ且此ノ目的ヲ達スル爲必要ノ補助機關ヲ設置シ戰時輸出及輸入ヲ統一シ缺乏品ノ交換貿易ヲ管掌セシメサルヘカラス

戰後ノ立法事項ニ對シテモ注意ヲ喚起スヘキ事項少カラサルモ經濟參謀本部ヲ設置シ所要法律ノ起案ニ參與セシムルノ必要アルカ如キ其ノ一ナルヘシ

戰爭終了後機敏ナル商人ノ注文ニ應シ前後ノ思慮ナク物資ヲ海外ニ放流スルハ適當ナラス最良ク熟考セラレタル統一計畫ニ依リ輸出ヲ規定シ之ニヨリ輸出ノ緩急ヲ區分スルコト必要ナリ

第一九 獨國工業動員成功ノ要素

以上原料課ノ達成セル所ヲ通觀シ如何ニシテ獨國カ能ク此ノ大事業ヲ達成スルコトヲ得タルヤヲ述ブレハ其ノ原因概ネ次ノ如シ

第一

第一八 平時ニ於ケル工業動員準備

第一九 獨國工業動員成功ノ要素

- 一、工業動員ノ著手機ヲ失セザリシコト
二、普國陸軍省カ當初「ラーテナウ」氏提議ノ全部ヲ容レ斷然之カ著手ヲ決行シタルコト
三、普國陸軍省カ此ノ廣汎ノ事業ニ同省傳襲ノ行政智能ヲ用キ全力ヲ傾注セルコト

第二

- 一、徹頭徹尾統一指導ニ依リタルコト
二、工業動員組織ヲ委員組織、代表者團又ハ臨時會合ノ專門家ノ手ニ委ネザリシコト
三、工業動員組織カ官衙的分散ノ弊ニ陷ラス中樞部ノ統一意思ニ依リ支配セラレ其ノ統一意思ノ背後ニハ之ヲ強行スルニ必要ナル權能 (Macht) ヲ具備シタルコト

委員編成ハ評議研究スルニハ適當ナルモ實行機關トシテハ不適當ナリ例ヘハ火曜日ニ於テ委員會ヲ開キ四時ニ集合シ七時ニ解散シ委員ハ夫々歸宅ス其ノ日ニ解決セザリシ事項ハ次ノ金曜日迄其ノ儘放置セラル此ノ如キ委員會ハ監督ニハ差支ナキモ組織的實行ニハ不適當ナリ此ノ事實ハ單簡明白ナリト雖而モ尙之ヲ熟知セサル者アリ

第三

獨逸人氣質能ク之ヲ達成セシム即チ若干ノ理想家相集マリ無報酬、無契約、無拘束ニテ最熱心ニ間斷ナキ劇務ニ服シ各人全幅ノ精力、經驗及理想ヲ提供シ一意國家ニ盡スノ感念強烈ナリシニ依ル

實際是等ノ人員ハ市民的、同僚的共同ニ於テ相融和シ其ノ間殆ト上官ノ感念ナク又盲從ノ傾向ナキモ能ク一團トナリ全獨逸帝國ニ互ル新經濟方式ト工業上ノ組織網ヲ展開スルコトヲ得タリ、前述中心人物ハ獨國工業界ノ激進タル向上力ト彈性トニ依リ後援セラレ困難ナル施設ノ實行モ重大ナル負擔モ工業界ハ能ク之ニ耐ヘ以テ未曾有ノ大事業ヲ達成セリ

第四

工業動員完成ノ原因ヲ爲セル最モ有力ナル原因ハ實ニ人力ニ在リ人力ハ機械力ヲ超脱シ獨リ能ク創業ト發展ノ能力ヲ有ス而シテ其ノ人力トハ何ソヤ他ナシ完全ナル信任是ナリ三名ノ普國陸軍大臣カ徹頭徹尾「ラーテナウ」氏ニ信賴セルコトハ同氏カ甚深ノ謝意ヲ表スル所ニシテ此ノ如キ信任ハ天稟ノ人格ヨリ出テタルモノナレハ他國ニ其ノ例ヲ發見スルコト難シ獨國カ能ク工業動員ヲ完成シ經濟界ノ危機ヲ未然ニ防止シ得タル大事業ハ實ニ人物ノ能ク然ラシメタルモノニシテ又獨國同時ニ普國國民氣風ノ賜ナリト云ハサルヘカラス